

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B0604-5		事務事業名			一般事務事業骨髓提供者等助成金				事業期間			平成元年度			～	令和8年度以降			
実施計画事業		○																			
実施計画事業以外の事業				担当部			健康いきがい支え合い推進部				担当課・担当係			保健センター 予防検診係							
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	6	展開 方向	4	事業・予算区分		一般事業		款	4	項	1	目	1	大	2	中	1
	根拠法令 ・個別計画	・移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律 ・愛知県骨髓提供者助成事業費補助金 ・小牧市骨髓提供者等助成金交付要綱							対象 (何・誰を対象に)		18歳以上54歳以下の市民										
	目的 (何のために)	有効ながん治療法の一つである骨髓移植の推進を図るため骨髓バンクへの登録勧奨を実施している。また、がんを代表とする疾病の早期発見を図る目的で、大腸がん、乳がん検診をはじめとする各種がん検診及び歯科健診の受診率の向上に向け周知啓発も行っている。 また、骨髓提供者及び骨髓提供者が勤務する事業所に対して、経済的支援をし、提供者等の負担を軽減を図っている。							内容 (どのような方法で)		小牧市骨髓提供者等助成金交付要綱に基づき、公益財団法人日本骨髓バンクが実施する骨髓バンク事業において、骨髓又は末梢血幹細胞を提供した者等に対して助成金を交付することにより、骨髓提供者等の負担の軽減を図り、骨髓等の移植の推進及び骨髓バンクへのドナー登録者数の増加を図る。 なお、令和5年度から骨髓又は末梢血幹細胞を提供した者に対し、従来の1日2万円、7日が上限であった助成金に、市独自助成事業の20万円を上乗せする制度に改めたところである。										

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	0	70	70	270	
				国・県支出金		0	70	70	70	
				その他		0	0	0	0	
			計(A)			0	140	140	340	
			対前年比			%	—	—	100.00%	242.86%
		予算額		千円	420	420	420	820	820	
	人件費	正規職員		人	0.1	0.1	0.1	0.1		
		正規職員(平均賃金)		千円	749	749	749	749		
		その他職員		人	0	0	0	0		
		その他職員(時給×時間)		千円	0	0	0	0		
計(B)		千円	749	749	749	749				
事業費合計(C=A+B)				千円	749	889	889	1,089		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	6	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1								
	展開方向	4	2								
			3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	助成金を活用した人数	人	目標	2	2	2	2	2
				実績	0	1	1	1	
				目標					
				実績					
	活動指標	献血会場での啓発回数	回	目標	2	2	2	2	2
				実績	1	1	1	3	
				目標					
				実績					
	単位あたり 事業費	受益者数(a)		人	0	1	1	1	
受益者あたり事業費(=C/a)		円		888,600	888,600	1,088,600			

(4-1)事業の評価

事業の方向性		維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの						
事業の評価	事業の達成状況と課題	令和5年度は、骨髄提供者等助成金事業を実施した結果、成果指標は目標値に近似したものの目標値には未達成。 骨髄バンク事業は、広く一般の方々に善意の骨髄・末梢血幹細胞の提供を呼びかけ、患者さんの治療に繋げる公的事業である。公益財団法人日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社と地方自治体の協力のもと行われている。白血病や再生不良性貧血等の治療法として骨髄・末梢血幹細胞移植が行われているが、移植を成功させるためには、患者さんと骨髄提供者(ドナー)の白血球の型(HLA型)を一致させる必要がある。 小牧市も骨髄又は抹消血幹細胞を提供した提供者に助成金を交付して負担の軽減を図り、骨髄等の移植の推進を図っている。また、骨髄バンクへのドナー登録者数の増加を図るため、献血会場などにおいて助成制度の案内を実施している。 ただし、あくまで助成金の対象者はドナー登録して適合した方であり、白血球の型が一致する確率が数百分の1から数万分の1であることや全国的に骨髄ドナー登録者が減少していることを踏まえると、小牧市に特別な要因はないと分析される。	今後の実施内容・今後の改善内容	成果指標の目標値未達の要因を解消するため、さらなる助成制度の周知啓発を実施することで事業のボリュームは変えずに目標値達成を図る。 今後は、愛知県春日井保健所の骨髄ドナー登録担当部署の協力を仰ぎ、献血会場などでの周知を図る。 さらに令和6年度は、バラアジサイまつりの献血会場や産業フェスタ献血会場においても助成金の周知を行うとともに1月に実施予定の健康フェスタにおいても中央図書館敷地内に献血会場を設け啓発を行い周知をする予定。					
	改善の有無	無		千円	節		細節		細々節
	これまでの改善内容	小牧市は令和5年度から、市の独自事業として骨髄提供者への助成金を20万円追加することにより、骨髄又は抹消血幹細胞を提供したものに対して提供時の負担を軽減し、骨髄等の移植の推進及び骨髄バンクへのドナー登録者数の増加を図った。	事務事業評価額	なし					

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づき公益財団法人日本骨髄バンクが行う骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業において骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了した者に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者等の負担の軽減を図り、骨髄等の移植の推進及び骨髄バンクへのドナー登録者数の増加を図る必要があるため。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	対象市民の数がさほど多くないため、一部の市民にしか影響はない。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	愛知県骨髄提供者助成事業費補助金交付要綱に基づき、補助基準額を規定している。併せて小牧市独自の補助額として対象者へ一律20万円の補助を行っている。他自治体と比べても対象者への負担軽減効果は大きいため継続していく。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	当該助成金事業における外部委託や事業統合の合理性はない。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業において骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了した者に対して助成金を交付する性質上、受益者負担はなし。